

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 2 区分

【発行日】 平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】 特表 2007-510639 (P2007-510639A)

【公表日】 平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【年通号数】 公開・登録公報 2007-016

【出願番号】 特願 2006-537439 (P2006-537439)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/711 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 39/395 U

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炎症性腸疾患 (IBD) の治療及び／又は予防のための医薬を製造するための C S F - 1 活性阻害剤の使用。

【請求項 2】

前記阻害剤が核酸である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記阻害剤が小分子 (NCE) である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記阻害剤が抗体又は機能活性のあるその断片若しくは誘導体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記抗体又はその断片が、モノクローナル、ポリクローナル、キメラ、ヒト化、又は二重特異性である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

前記抗体断片が、F a b、F a b'、F (a b')₂、s c F v、又はこれらのエピトープ結合断片である、請求項 4 又は請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

前記抗体又はその断片が、1種又は複数のエフェクター分子に結合している、請求項4から6までのいずれか一項に記載の使用。

【請求項8】

前記抗体又はその断片がCSF-1に結合する、請求項4から7までのいずれか一項に記載の使用。

【請求項9】

前記抗体又はその断片がCSF-1Rに結合する、請求項4から7までのいずれか一項に記載の使用。

【請求項10】

炎症性腸疾患がクローン病である、請求項1から9までのいずれか一項に記載の使用。

【請求項11】

炎症性腸疾患が潰瘍性大腸炎である、請求項1から9までのいずれか一項に記載の使用。

【請求項12】

治療有効量のCSF-1活性阻害剤を含む、炎症性腸疾患（IBD）の治療及び／又は予防のための薬剤組成物。

【請求項13】

前記阻害剤が核酸である、請求項12に記載の薬剤組成物。

【請求項14】

前記阻害剤が小分子（NCE）である、請求項12に記載の薬剤組成物。

【請求項15】

前記阻害剤が抗体又は機能活性のあるその断片若しくは誘導体である、請求項12に記載の薬剤組成物。

【請求項16】

前記抗体又はその断片が、モノクローナル、ポリクローナル、キメラ、ヒト化、又は二重特異性である、請求項15に記載の薬剤組成物。

【請求項17】

前記抗体断片が、Fab、Fab'、F(ab')₂、scFv、又はこれらのエピトープ結合断片である、請求項15又は請求項16に記載の薬剤組成物。

【請求項18】

前記抗体又はその断片が、1種又は複数のエフェクター分子に結合している、請求項15から17までのいずれか一項に記載の薬剤組成物。

【請求項19】

前記抗体又はその断片がCSF-1に結合する、請求項15から18までのいずれか一項に記載の薬剤組成物。

【請求項20】

前記抗体又はその断片がCSF-1Rに結合する、請求項15から18までのいずれか一項に記載の薬剤組成物。

【請求項21】

炎症性腸疾患がクローン病である、請求項12から20までのいずれか一項に記載の薬剤組成物。

【請求項22】

炎症性腸疾患が潰瘍性大腸炎である、請求項12から20までのいずれか一項に記載の薬剤組成物。

【請求項23】

前記CSF-1活性阻害剤を、治療活性のある1種又は複数の他の化合物と組み合わせて投与するための、請求項12から22までのいずれか一項に記載の薬剤組成物。

【請求項24】

前記治療活性のある他の化合物が別の抗IBD治療薬である、請求項23に記載の薬剤組成物。

【請求項 25】

前記治療活性のある他の化合物が抗癌治療薬である、請求項 23 に記載の薬剤組成物。